



一般社団法人 都城国際交流協会会報

MIA NEWS

ミア ニュース

～協会からのお知らせ～

◇中国語講座 入門編 受講生募集中！

中国語講座を開講します。皆さまの参加をお待ちしています。

日 程：10月9日～11月13日

毎週木曜日(全6回)

時 間：18:30～19:30

場 所：都城市役所北別館 2階 共有会議室

講 師：謝均妮さん(都城市中国国際交流員)

受講料：無料

定 員：15名(先着順)

お申込み：(一社)都城国際交流協会(MIA)まで電話、E-mailでお願いします。

電話 0986-23-2295

E-mail mia@btvm.ne.jp



◇TALK&TALK英会話サロン 参加者募集！

食事をしながら、ネイティブスピーカーと気軽な雰囲気英会話を楽しみませんか。

日 時：11月11日(火) 18:30～20:30

場 所：ポポラマーマ 都城駅前店
(都城市栄町4672-5 イオンモール都城駅前店1F)

参加料：MIA会員 500円 非会員 1000円

定 員：9名(会員優先・先着順)

※飲食店を利用させていただきますので1人1品、飲み物か食べ物の注文をお願いします。飲食代は別途各自ご負担となります。

※会場の都合で、当日注文されるメニューを前もってお聞きする予定です(可能な範囲で)。詳細はお申込みの際にお知らせします。

お申込み：(社)都城国際交流協会(MIA)まで
電話またはEメールでお願いします。

～インフォメーション～ 他団体等からの情報

◇「宮崎・韓国」フェスティバル2025

「宮崎・韓国フェスティバル 2025(KOREA FESTIVAL 2025 in Miyazaki)」が都城で開催されます。

主 催：駐日大韓民国大使館韓国文化院(*1)、
宮崎県

*1…韓国の芸術・スポーツ・観光など文化を発信している韓国の政府機関

日 時：令和7年10月11日(土) 11:00～17:00

会 場：都城市総合文化ホール

中ホール及び創作練習棟

(都城市北原町1106番地100)

(1)イベントの参加は無料です。

(2)舞台公演、体験教室は事前申込が可能です。

*当日は混雑が予想されます。一部のプログラムを除き予約なしでご参加いただけますが、当日の混雑状況に応じて、入場制限等を行う場合もありますので、事前のご予約(10月6日まで)をお勧めします。

詳細はイベントホームページをご覧ください。

問合せ先：宮崎県国際・経済交流課 国際交流担当

電 話：0985-44-2623

ファクス：0985-26-7327

E-mail：kokusaikeizaikoryu@pref.miyazaki.lg.jp



イベント
QRコード

◇ ひなた にほんごクラス オンライン

じゅこうせいぼしゅう

受講生募集！

みやざきこくさいこうりゅうきょうかい

(公財)宮崎国際交流協会の、「ひなたにほんごクラス オンライン(秋コース)」があります。

さんか

◇参加できる人

みやざきけん す ひと

・宮崎県に住んでいる人

いえ

・家にインターネットがあって、パソコンかスマートフォン、タブレットがある人

◇どこで： オンライン

◇い つ： 2025.10.15～2026.2.4 (30回あります)

すいようび きんようび

水曜日・金曜日 13:30～15:30

にゅうもん しょきゅう しょきゅう

◇コース： 入門、初級1、初級2

せいかつ にほんごにゅうもん つか べんきょう

「いろいろ生活の日本語入門」を使って勉強します。

じゅぎょうりょう むりよう

◇授業料： 無料

もうしこみ

みやざきけんこくさいこうりゅうきょうかい

お申込み：(公財)宮崎県国際交流協会までおねがいします。

みやざきけんこくさいこうりゅうきょうかい

(公財)宮崎県国際交流協会

TEL:0985-32-8457

Email:miyaiinfo@mif.or.jp

☆ひなたにほんごナビ⇒





「日本、テイク ツー」 南アフリカ出身ページ・フランクソンさんの記事

前に日本に滞在したとき、生徒が弓道の歴史と「かけがえのない」というフレーズの大切さについてスピーチを披露してくれました。生徒は、各弓道家の「躰(かけ)」が少しずつ削られ、いつか使い手の手にぴったり合う個性あるものになる、と説明してくれました。その言葉を、私は忘れられないです。この表現を胸に日本での経験を振り返ると、各経験、各挑戦、各成果が本当にかげがえのないものになっていくのだと、私は感じています

Hello!、もしくは南アフリカ風に言うと、Howzit!(ハウジット)

私の名前は、ページ・フランクソンと言います。ALT(外国語指導助手)として日本で働くのは二回目で、南アフリカ東海岸近くの海沿いの都市ダーバンの出身です。夏の気候は都城にとっても似ていますが、湿気の多さは格段に違うと認めざるを得ません。まあ、暖かさに文句を言いつつも、なんとか順応できた気がします。



天気のような小さな例でも、日本と南アフリカのつながりを見つけるのが大好きです。なぜなら、正直に言って例が少ないからです。多くの日本人にとって、南アフリカはラグビーで有名な国かもしれません。2015年のラグビーワールドカップでは、日本が南アフリカのスプリングボクス(当時、世界最高峰のチームのひとつ)を破り、最大の番狂わせのひとつを起こしました。南アフリカ人にとって、一生忘れられない試合です! 幸いなことに、2019年の大会ではスプリングボクスが雪辱を果たし、ワールドカップを制しました。その勝利は、私たち南アフリカ人にとって大きな誇りです。

私の日本とのつながりはアニメから始まりました。これは多くの外国人にとって同じだと思います。友達からもらった「千と千尋の神隠し」がきっかけで、日本の文化、美術、歴史などに興味を湧いてきました。その関心を英文学研究と組み合わせて、結局「英訳された日本文学(特に女性作家の作品)」をテーマに修士課程を目指すことになりました。学習していた映画や小説のおかげで、「日本の日常」を垣間見ることができ、その好奇心は更に深まり、ALTに応募する大きな動機にもなりました。



初めてALTとして勤務したのは長崎でした。特に九州を希望したわけではありませんが、歴史あふれる街に配置していただき、とても嬉しく思っていました。日本の美術や文化はもちろんのこと、日本の「日常」にも深く興味を持つようになりました。「おもてなし」「もったいない」「いきがい」といった概念は、学ぶものとして面白かっただけでなく、自分の日常で体験することで、日本に関することだけでなく、さまざまな物事に対する見方を広げてくれました。こうしたことは、読書だけでは物足りなくて、実際に体験しなくてはならないと思います。

南アフリカに帰省したとき、日本での出来事について、家族や友人にたくさん話しました。後悔があるとすれば、長崎や福岡のような大都市以外は、あまり九州を回れなかったことです。だからこそ、都城で暮らし働く機会を与えていただき、本当に感謝しています。宮崎県の美しさ、歴史、魅力などには、もう驚きました。国内でも国外でも、もっと話題になっていないのが、信じられません。だって、文化がこれほど豊かで、息を呑むほど自然の絶景もあるのですから。

ここに引っ越してからまだ日は浅いですが、都城に熱心に関わるアンバサダーとしての姿が既に見えてきました。他の都市とは違って、この町は静かで自然な美しさがあると思います。市民は皆優しく、温かく迎えてくれます。盆地まつりの踊り連に参加した時も、運良く自分自身でその優しさを体験することができました。到着してわずか3日で、人前で踊るのは緊張しましたが、忘れられない体験でした。これからも、さまざまなイベントや文化交流に参加するのを楽しみにしています。



都城での日々を重ねていく中で、きっとまた「かけがえのない」人生の一章になると思っています。何よりも、私の経験や文化などをシェアしたり、ここの皆に教わったりして、一生忘れずに持ち続ける思い出を築きたいと思っています。



「生ビールとは一体なんの物でしょう？」

～都城市アメリカ国際交流員 セスさんによるアメリカ紹介～

生ビールとは一体なんの物でしょう？

日本人ならば、皆は普通にお店で頼んでいますけど、さっぱり分からないまま(笑)、「生ビール一杯ください～」と気軽に注文します。

アメリカ人はこうしたことは「は？」と思うくらいビックリさせる不思議な現象です。アメリカのお店などのお酒が飲めるところには、銘柄から食材に至るまでの情報がメニューに載っているからです。どんなものが載っているのかは、例としてあげれば、以下の通りとなります。

【大手・全国区の有名ブランド】

Budweiser(バドワイザー)

Bud Light(バドライト)

Miller Lite(ミラーライト)

Coors Light(クアーズライト)

Michelob Ultra(ミケロブ・ウルトラ)

Pabst Blue Ribbon(PBR/パブスト・ブルーリボン)



一方、日本の大手のビール企業は主に、麒麟、アサヒ、サントリー、そしてサッポロでしょう。

四つの会社は、それぞれ特徴をちゃんと出しているし、味が違うのに、どれも「生ビール」でまとめてしまうのは、日本ならではの不思議です。アメリカ人の目線からみれば、あり得ないことはもちろん、恐らく想像すら付かないと思います。なぜかという、来日してから初めて気が付いたのですが、アメリカ人は非常に自分の好物のお酒に拘っているかもしれないからです。試行錯誤で好きなものが分かるようになってから、それしか頼まない傾向さえ見られます。

因みに、ビールだけではなく、ウィスキーも、ほかの蒸留酒も、そして特にワインもそうです。何を口に入れているか分からなければ、そもそも口に入れてたまるかよ！？と考えている人が多いのです。

先月、私の親友であるアメリカ人の友達がわざわざ日本に来てくれて、「俺はさあ、バーで働いてるからよく分かるけど、これ、アメリカで同じことをやっちゃえば、お客さんはかなり嫌がるぞ」と述べました。

結論から言えば、皆様に最後に二つの提案をしたいと思います。

一つ目：

アメリカに旅する機会があれば、全部試飲するまでは、指一本で気になるものを指していただいて、味を比べてみて、アメリカの飲食世界を楽しんでください！

二つ目：

次、日本のお店に行く際に、目の前にあるグラスを見て、店員さんの方に声をかけてみて、一体何が自分のグラスに入っているのかを訊いてみてください。



大好きなサッポロビールを手に持つセスさん



「白いフェルトのキツネ」

～都城市モンゴル国際交流員 ヒシゲさんによるモンゴル紹介～

モンゴルでは赤ちゃんの最初の贈り物として白いフェルトのキツネが贈られます。古くから「キツネが赤ちゃんの夢に現れていたずらをする」という言い伝えがあり、赤ちゃんの安眠を願って、お父さんがキツネの形をしたお守りを作るのです。

このフェルトのキツネは、伝統的なお守りだけではなく、お父さんの深い愛情が込められた特別な贈り物です。今回は、そんなフェルトのキツネの伝説を紹介したいと思います。

昔々、モンゴルの広い草原に好奇心いっぱいのキツネがいました。ひとりばっちで、毎日退屈です。楽しいことを探してあちこちさまよっていると、ある家にたどり着きます。その家からは、赤ちゃんの元

気な泣き声と笑い声が聞こえてきました。しばらくすると、やさしい子守唄が流れて、赤ちゃんはすやすやと眠りにつきます。それを見たキツネは、いたずらしたくなりました。ぐっすり眠っている赤ちゃんに近づいて、「ねえ、起きて！起きて！私と一緒に遊ぼうよ」と呼びかけました。でも、赤ちゃんはぐっすり眠っていて、全然起きません。そこでキツネは「赤ちゃん、起きて！起きて！お母さんは遠く行ってしまおうよ」と嘘をつきました。



赤ちゃんが泣きだすと、キツネは心配して言いました。「赤ちゃん、ねんねしよう！お母さんは遠く行っていないよ、大丈夫だよ。」赤ちゃんは安心して、微笑みながらまた眠りました。キツネが楽しそうに遊んでいると、赤ちゃんのお父さんが目を覚ましてしまいました。びっくりしたキツネは、ゲルの天窓から逃げていきました。

それを見たお父さんは「先客がいるので、来なくていいよ」との願いをこめて、お守りとしてフェルトのキツネを作ったのです。

翌日、キツネがまたやってきます。すると、赤

ちゃんの上にはフェルトの白いキツネが吊るされていました。それを見たキツネは「この子にはもうキツネがついているのだね」とつぶやいて帰っていったそうです。



甥が生まれたときに義弟が手作りのフェルトのキツネ

編集部より

皆さん、こんにちは。

8月にはいろいろな地域で六月灯が開催され、毎晩どこかしこで花火が打ち上げられ、きれいな夜空を楽しむことができましたね。私も六月灯や地域の行事にお招きいただき、都城市の夏の風物詩を満喫させていただきました。

ただ、惜しむらくは、お仕事で行かせていただいているので、一人でお祭りに参加しなければならないこと…地域の皆さんが可愛いわんちゃんを連れていらっしゃる方を見かけると、わんちゃんをなでなでさせていただきました。

我が家の愛犬アニーちゃんも浴衣を着せて、連れていきかけたかなあ～でも、アニーちゃん、究極の人見知りのビビりさんだから、ぶるぶる震えて浴衣がはだけちゃうかしら…

[亀谷]

「数年前にここが変だよ、日本人」というテレビ番組がありました。そこで紹介されたエピソードで、こんなものがありました。

日本を訪れた外国人が驚くことのひとつが「お辞儀の多さ」です。なかでも印象的なのは、「見えない相手」にも頭を下げる日本人の姿。たとえば電話を終えた後、相手が見えないのに深くお辞儀をする。また、自動販売機で飲み物を買った後に機械に向かって一礼する場面も。ある外国人は「誰に感謝しているの?」と戸惑ったと言います。

さすがに自動販売機にお辞儀をする人はみたことがありませんが、しかし、これこそが日本の美德。相手が見えていなくても、感謝と敬意を表す姿勢は変わりません。それは、人を思いやる心の表れであり、日本独自の「見えないマナー」なのです。

こうした行動は一見不思議に見えるかもしれませんが、日本人らしい優しさや配慮が感じられ、むしろ世界に誇れる文化とも言えるのではないのでしょうか。

[富吉]

こんにちは！

先日、白髪が目立たなくなるカラーをしてもらおうと満を持して美容室に向かった私。

もともと暗い色が好きなのですが、暗い色は目立つからと都会のおしゃれなやつを美容師さんに勧められ、そこまで言うならと、今風のイイ感じのカラーにさせていただいたのですが…。薬剤が強かったのか、自宅でお風呂に入った後、ドライヤーで乾かしていると髪が切れて飛んでいくんです(;´ω;)ちょっと状況が理解できず、呆然と座り込む私に、家族も哀れんだ目でこっちを見ている(;´∀`)(;´Д`´)(@_@) 今思い返しても、床に散らばる大量の切れた髪と、半濁きの髪で濡れた犬みたいになっている私はシュールでした(笑)

人間欲張ったらいけませんね。やっぱりいつもの白髪染めで良かったやんと、勉強になりました。イメージでもなんでもなく、ただ髪がちぎれてしまったがために、結果短くなった髪に費やした美容室代、約3万円です。。

[中瀬]

中国では、旧暦7月15日を「中元節」といい、祖先の霊が下界に出てくると考えられています。今年は9月6日に当たりました。清明節(春)や重陽節(秋)のように、現世の子孫が亡くなった祖先に敬意を表するのとは異なり、亡くなった祖先が生きている人に会いに来ると信じられています。地域によって、紙製の船や灯籠を川に流す習慣があります。

この日、あの世への扉が開きますので、目に見えないものに会う可能性が高いと信じられています。そのため、「早めに家に帰って、外で夜遊びしないで」と家族から言われました。

[謝(しゃ)]

先日、知らない人にある質問を訊かれ、お互い様の返事に混乱した顔をしていました。

彼:「あなたは何人ですか?」

私:「ん?どういう意味でしょうか?私はあなたと同じように、にほん人ですよ」

彼:「そうなの?絶対ウソでしょ!」

私:「ビックリすることではないと思いますけど…だって、あなたにもほん人ですもの」

彼:「いやいや、ビックリすることしょ!育ちが日本ってこと?」

私:「いや、育ちも生まれもアメリカなんですけど、それはどういう関係?」

彼:「どういう関係って…おまえ、アメリカの育ちと生まれなのに、それでも(私は日本人です)って?なんか、特別な事情とか、もしくは永住権かなんか持ってるの?」

私:「永…権?別に許可なんて貰わなくてもいいでしょう?私の意見なんて、全然訊かれずに、こんな風に生まれてきたのです。」

彼:「でもさ、日本人になるには、なんかいるんでしょう?戸籍謄本とかに入らないといけないうさ」

私:「んー、戸籍トウホンっていうのは一体何なのか正直分かりませんが、私は何も特別なことをせずに、にほん人になれましたよ。…しかしながら、三本人になるには、杖とかが要るかもね…」

彼:「…あ。そっちな」

私:「?今は脚二本ついているので、普通に二本人でしょう?」

[セス]

8月に、4泊5日で初めての大大旅行へ行ってきました!今回は別府と湯布院を満喫。地獄温泉巡りに、ホテルの貸し切り温泉……とにかく癒し旅でした。いちばん印象に残ったのは、地獄温泉巡り中に会った「地獄のグルメ」たち!「えっ、これ食べて大丈夫!?!」と一瞬考えてしまうこともありましたが(笑)、食べてみたら、どれも地獄じゃなくて、まさかの天国の味!

[ヒシゲ]

交流ナイトにご参加いただいた皆さんありがとうございました。外国の方々との交流を楽しんでいただけたと思います。また来年です。

スズメバチに4ヶ所刺されました。痛みは24時間続きました。庭の木の剪定をしていたのですが、巢に気づかなかったのです。直径30センチくらいありました。業者に依頼して除去してもらいましたが、数万円かかりました。庭の木は、根元から伐採しました。

[藤元]

私は、甥っ子たちに「おばちゃん」と呼ばせない作戦に成功して、「まっちゃん」と名前でもらっています。ここへきて、娘の友達に何と自称すればいいか迷っています。「おばちゃんはね…」と言いたくないけれど。もう、諦めるしかないかもしれません。

[迫田]

先月、ネットニュースの中の「アマテラス石」という言葉に目が行き神話の国・宮崎に住んでいる者として興味湧き読んでみたら、ヒスイから「アマテラス石」名付けられた新鉱物をアマチュア鉱物研究家が発見したという内容でした。もう一つ勉強になったのは、2016年に日本鉱物学会がヒスイを、国の石「国石」と選定したことでした。

[ソヨ]